

## 患者さんの生活に寄り添った看護ができるように頑張っています



- ◆ 勤務病棟 : 10階西病棟 内科 (腎臓・神経・循環器)
- ◆ 職種 : 看護師 (3年目)
- ◆ 出身校 : 岐阜県立衛生専門学校

### Q1 あなたが岐阜県総合医療センターを就職先に選んだ理由を教えてください。

私は看護学生のときに岐阜県総合医療センターで実習を行いました。その際に急性期の患者さんの日々変化する病態に合わせた、看護介入を行っていることを学びました。私も患者さんの全体を把握し、生活に寄り添いながら看護を行いたいと思いました。また、急性期病院で高度な知識や技術を学びたいと思ったためです。

### Q2 当センターで働く中で、あなたが成長できたと実感したエピソードを教えてください。

90歳代で透析導入した患者さんにシャント管理の指導を行いました。その際に患者さんの生活背景や認知機能を把握した上で、患者さんに合わせた指導方法を考えました。始めは、患者さん自身の管理への理解が困難でしたが、指導を通して、シャントを意識できるようになっていきました。この関わりから、患者さんをとらえながら看護を行うことの大切さを学びました。

### Q3 あなたの看護実践に影響を与えた上司、先輩、同僚とのエピソードを教えてください。

私の所属する病棟では腎不全や脳梗塞の患者さんに対して生活指導を行っています。先輩は生活背景や家族の協力体制、介護保険の有無など、日々の関わりの中で確認し、その人らしい介入ができるようにしていました。忙しいと病態の確認だけになってしまいがちですが、患者さんその人をとらえることができる関わりが今後の生活のサポートをしていく上で大切なことを学びました。